

株式会社 三越 2009年1月上報告

1. 店別状況

店名	売上高※1 (千円)	参考前年比※2 (%)
全店合計	55,901,715	90.5
日本橋	19,927,890	91.2
新宿アルコト	1,594,176	89.8
銀座	4,019,550	88.4
池袋	1,648,005	89.7
千葉	1,971,617	90.5
仙台	3,194,341	93.0
札幌	2,943,335	90.6
名古屋栄(ラシック舎)	7,595,156	89.6
星ヶ丘	1,769,092	93.8
新潟	1,684,300	90.7
広島	1,400,437	90.4
高松	2,146,015	91.0
松山	1,861,593	90.6
福岡	3,279,267	85.4
鹿児島	866,935	98.5

※1 テナント売上高を含みます。

※2 2008年5月より、前年の売上実績を100として比較しています。

2. 商品分類別売上高

		売上高※1 (千円)	参考前年比※2 (%)
合計		55,901,715	90.5
衣料品	紳士服・洋品	3,993,254	87.3
	婦人服・洋品	15,215,607	82.3
	子供服・洋品	845,480	95.0
	その他衣料品	1,736,318	89.8
衣料品小計		21,790,659	84.2
身の回り品		7,158,869	82.8
家庭用品	家具	849,267	88.8
	電器	192,743	82.6
	その他家庭用品	1,719,214	86.2
家庭用品小計		2,761,224	86.7
食料品		11,222,841	99.5
食堂・喫茶		958,884	91.4
雑貨		7,340,378	81.8
サービス		126,215	63.7
その他		1,211,583	95.7
テナント売上		3,331,062	258.4

3. 商況概況

＜1月商況＞

- ・ 初売りでは多くのお客さまで賑わったほか、月間でも様々な集客施策により来客数は微減と健闘したものの、売上は前年のカード優待施策の反動をカバーできなかったことが響き、全店合計の売上前年比は90.5%となった。婦人衣料・雑貨は、クリアランスセールでは帽子や手袋など防寒雑貨が堅調に推移、中旬に前倒した再マークダウンでは値頃感からコートが動き出したが非ウール中心で重衣料は本格化せず、全体の売上を押し上げるにはいたらなかった。後半は春色やトレンドを取り入れた冬物を投入し軽衣料中心に動きが見られた。紳士衣料・雑貨では、カジュアルや靴、鞆は堅調に推移。食品は初売りや催事が牽引し好調を維持しているものの、宝飾品・特選雑貨は引続き低調に推移した。
- ・ 日本橋本店は、初売りで以降食品が堅調に推移したが、衣料品や宝飾品・特選雑貨が引続き伸び悩んだ。衣料品は再マークダウンでコートが動き出したものの全体をカバーするにはいたらなかった。一方、事業部門が好調で全体を押し上げ売上前年比は91.2%となった。
- ・ 銀座店は、初売りでは福袋が好調に推移した。クリアランスセールはニットなど軽衣料や防寒雑貨に動きが見られたものの重衣料を中心に伸び悩んだほか改装工事に伴う一部売場閉鎖の影響もあり、売上前年比は88.4%となった。
- ・ 名古屋栄店は、来客数は微減にとどまったものの購買単価の下落が大きく影響し、売上前年比は89.6%となった。主力の特選部門・婦人衣料はクリアランスセール以降苦戦したが、食品部門は和洋菓子や催事を中心に好調に推移した。

＜その他＞

- ・ 「スイート&クラシック」をテーマに、パレタインフェアを各店にて1月20日(火)より順次展開。洋菓子職人協会「ルレ・テ・セール」のアソートや各国の「王室御用達ブランド」のアソートなど、日本初登場や三越限定の商品を中心にこだわりの商品を多彩にご用意。日本橋本店、銀座店などでは、2月3日(火)から15日(日)まで特設会場を開設。限定のチョコレートをお求めに多くのお客さまで賑わっている。9日で受付終了したオンラインショッピングは売上前年比150%と好調に推移した。

2008年3月より、報告する売上高にテナント売上を加えて、同じ基準で比較して前年比としています。
三越各店でテナントも含めた店舗の全てのフロアでお客様がお買物される金額をお店の販売額と捉えるためであると同時に、統計の継続性を保つためです。

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越伊勢丹ホールディングス 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ
 TEL03-5843-6041 FAX03-5843-6040
 (株)三越 総務室 広報担当
 TEL03-3274-8007 FAX03-3241-5298